



つくば アグリつうしん

第54号 令和4年12月
茨城県南農林事務所
つくば地域農業改良普及センター
つくば農業改良推進協議会
TEL 029-836-1109
FAX 029-836-1816
E-mail tsunofu@pref.ibaraki.lg.jp
ホームページ
<https://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/nourinsuisan/nannourin/tsunofu/index.html>



子実用トウモロコシ先進事例視察研修を開催しました！



コンバインを用いたトウモロコシ収穫の様子

高収益作物への転換 〜水田農業の可能性を探る〜

令和四年十月十四日、境町稲尾にて水田での高収益作物として注目されている子実用トウモロコシを先進的に導入する事例の視察研修会を開催しました。当日はつくば普及センター管内の生産者十名、関係者十一名、合わせて二十一名が参加しました。今回の研修会は、ウクライナ情勢等により国内での穀物増産を求める声が高まる中、県内他の地域に先駆けて子実用トウモロコシを栽培する(株)クローバー・ファームの事例を視察することで、取り組みに当たったのメリット・デメリットを学び、つくば管内での導入検討に活かしていくことを目的としています。

普及センターから子実用トウモロコシをめぐる情勢や取り組み概要について説明した後、ほ場を管理している(株)クローバー・ファームの高橋大希氏から取組にあたってのポイントについて説明をいただきました。高橋氏からは「大豆を既に作っている人であれば、比較的取り組みやすく、挑戦する価値はあるのでは」という助言がありました。その後、子実用トウモロコシ専用のアタッチメントをつけた汎用コンバインによる収穫作業の様子を見学しました。参加者からは、「鳥獣害の問題はないのか」、「コンバインで収穫した後に残渣をすき込むのにモアをかけるのか」など多くの質問が寄せられました。普及センターでは、今後も水田農業の収益性を高めていくための新たな取組への挑戦を支援していきます。

農業学園「ネギ講座」 先輩農業者のノウハウを学ぶ

十一月八日、つくば市のネギほ場（谷口氏ほ場）において農業学園「ネギ講座」（広域講座）を開催し、県南地域の農業学園生十名が参加しました。

前半は普及センターから栽培管理の基礎や主要病害虫について説明しました。後半は露地野菜生産者の谷口氏から実際の栽培管理のポイント、労働力を分散させる栽培体系づくりなどについて説明を受けながら、マルチ栽培のほ場を見学しました。

谷口氏はマルチ栽培等の省力栽培で規模を拡大しています。学園生からは、「土あげやマルチ栽培の方法が参考になった」、「育苗について、トレイや散水ノズル等、細かいこだわりがあって驚いた」などの感想があり、満足度の高い講座になりました。

今後の農業学園講座は、一月に「県南地域青年農業者プロジェクト発表会」、二月に「販売力向上講座」を開催予定です。ご興味のある方は、普及センターまでご連絡ください。



ネギほ場で行われた講義の様子



散水用資材の紹介

雇用管理研修会 採用と人材育成について考える

十一月一日、県南農林事務所主催で「令和四年度雇用管理研修会」を開催しました。

当研修会は、雇用を導き入れている（導入を検討している）生産者を対象に、採用から人材定着までのポイントを学ぶ機会を提供するものです。

（株）ノースエイム代表の宮村省吾氏を講師に迎え、農業現場で特に課題となっている二つのテーマ、「従業員の採用」と「人材の育成・定着と人事評価制度」について、講演をいただきました。

事前に出されていた多くの質問にも答えてもらいましたが、例えば「採用面接での人材の見極め方は？」という質問に対しては、「ここは譲れないという自分なりの採用基準

を定め、それを確認するための質問を用意し、面接では必ずその質問をするように」というアドバイスがありました。質問に対する宮村氏の具体的な回答に、会場参加者からは納得感が得られたとの感想が寄せられました。

充実した研修になりました。雇用の確保が深刻な問題となっている中、普及センターでは、安定的な雇用力の確保、人材育成に向けて、今後も支援を行ってまいります。



↑多くの質問が活発に出されました

技術情報

今夏の高湿少雨の影響と今後の対策について

水稲



・玄米品質の低下

出穂期以降の高湿により、白未熟粒の発生による玄米品質の低下が確認されました。一等米比率の低下も見られました。

今後は、**高温登熟耐性品種（ふくまるSL・にじのきらめきなど）**への作付転換や熟期の遅い品種の作付けにより、**登熟期間の高湿回避**に努めることが大切です。

施設野菜



・生理障害の発生

トマトの促成栽培では後半に、劣果や軟化果、着色不良が多く確認されました。また、イチゴでは仮植後の活着不良や生育遅延、ランナー焼けが見られました。

ハウスの換気や遮光方法の見直し、冷却装置の導入等が必要になってきています。

露地野菜

・ネギの生育停滞

早い梅雨明けで長い高温期間になったため、生育停滞し、例年より細身のネギが目立ちました。**夏越し前に十分な葉枚数や葉鞘径を確保することや品種選定が重要**です。また、**30℃以上の時には土壤病害防除のため、土を動かさない**ことも大切です。



肥料価格高騰対策～堆肥を活用しましょう～

令和5年2月頃に肥料価格高騰対策事業の春肥分の申請受付が開始します。今回は、化学肥料低減計画書の取組メニュー15項目のうち、「堆肥の利用」について、関連する技術や情報をご紹介します。



たい肥ナビ！Web版

「たい肥ナビ！Web版」は堆肥中の肥料成分に着目した肥料設計システムで、茨城県畜産協会ホームページで利用できます。栽培品目、畜種、堆肥の窒素・リン酸・カリウム含有率、腐熟度（任意）を入力すると、適切な堆肥の施用量や、化学肥料をどれだけ削減できるかが分かります。

堆肥を使いたいのがどれだけ使えばいいかわからないという方はご利用ください。

堆肥生産者名簿

堆肥生産者名簿には、畜種別に、堆肥生産者の氏名、住所、連絡先だけでなく、配達や散布をしてもらえるかどうか、堆肥の成分値や副資材なども記載されています。

堆肥の入手先をお探しの方はご利用ください。

問い合わせ先：茨城県畜産協会 TEL:029-231-7501

1. 堆肥施用量(kg/10a)

重量(kg/10a)	容積(m ³ /10a)
617kg	1.2m ³

↑ハクサイで算出された豚糞施用量



たい肥ナビ！



堆肥生産者名簿

農業機械の盗難に注意しましょう！

農業三士を新たに認定しました

茨城県では、地域農業の振興や担い手育成に活躍する地域のリーダーを農業経営士、女性農業士、青年農業士として県知事が認定しています。今年度、新たに次の皆さんが茨城県知事の認定を受けました。



農業経営士

つくばみらい市
とうごう なおき

東郷 直樹 氏

(営農類型：露地野菜、水稻等)



青年農業士

つくば市
こくぼ りょう

小久保 凌 氏

(営農類型：水稻、麦等)



青年農業士

取手市
ながつか だいき

長塚 大喜 氏

(営農類型：水稻、麦等)



青年農業士

取手市
しもやま かずき

下山 和樹 氏

(営農類型：水稻等)



退任者

今年度、以下の皆さんが退任されました。長年にわたり地域の農業振興にご尽力いただき、ありがとうございました。

農業経営士

ありの とよお
有野 豊雄 氏

青年農業士

せき もとあき
関 元章 氏

ねもと よしさだ
根本 善貞 氏



茨城県立農業大学校入学試験(後期)のご案内

願書受付期間	
令和5年1月30日～令和5年2月22日	
試験日	選抜内容
令和5年3月2日	筆記試験、口述試験、調査書等

募集要項、出願書類、提出方法などの詳細な情報はホームページをご確認ください。皆様のご応募をお待ちしております。

問い合わせ先
茨城県立農業大学校
入試事務局
TEL:029-292-0010



ホームページ

茨城県農業参入等支援センターからのお知らせ

茨城県農業参入等支援センターは、農業経営や企業参入に関する相談窓口です。

法人化や規模拡大等により、

- ①経営発展を目指す意欲ある農業経営者
- ②第三者への経営継承を考えている方
- ③農業分野への参入を希望する企業等

を対象として、関係機関との仲介や各種支援制度の紹介、専門家からなる支援チームの派遣、農地情報の提供等、相談内容に応じた、様々な支援を行います。

問い合わせ先

茨城県農業参入等支援センター
TEL：029-301-3844
FAX：029-301-3879
メール：
sannyu@pref.ibaraki.lg.jp



ホームページ